

西京区・洛西地域活性化懇談会及び意見交換会の意見まとめ

■定住に関するまちの課題

- 洛西NT・大原野における若年層の流出・少子高齢化の進展
- 公的住宅の老朽化・魅力の低下による空き家の発生
- 自治会加入率の低下など、コミュニティの希薄化
- 洛西ニュータウンにおける利便施設・交流施設・若年層向け住宅の不足
- 働く場所・産業の創出
- 子育て支援サービス・子どもが安心して遊ぶ場所へのニーズの高まり
- 公共交通が不便な地域への対応が必要（特に高齢社会において）
- 大学と地域コミュニティとの関係構築
- 西京区の「よいところ」「住みやすさ」の積極的なPRが必要

□西京区・洛西地域の資源・特長

- 西京区は多様な個性を持つ地域の集まりである
- 自然・農業・歴史など魅力的な景観・文化を楽しめるまちである
- 公的住宅、民家、マンションなど、活用可能な良質な住宅ストックがある（空き家の活用が可能）
- 元気な高齢者が多い
- さまざまなまちづくり活動、文化活動が展開されており、人材が豊富である
- 市立芸大をはじめとして、芸術系の人材が豊富である

■交流に関するまちの課題

- 区民が実施している活動が、区の中でまだまだ知られていない
- 地域を越えた人材・活動のつながりができていない（地域間での交流不足）
- 増加している観光客を受け入れ経済効果や文化交流を促すことが重要だが、そのための受け皿・情報・交通・ソフトなどの充実
- 魅力発信・魅力づくりを区全体・区民ぐるみで行う体制やネットワークの構築
- 区内外との交通確保による人の交流の促進
- まちを元気にする「思い」と「スキル」を持つ人が、まだまだ隠れている。

◇定住に関する活性化方針

- 若年層が住みやすい・住みたくなるまちづくり・住まいづくりの推進
 - ・老朽家屋やニュータウンの空室のリノベーションで魅力的な住宅提供
 - ・学校などの教育環境の充実(京大との連携による教育環境の充実・アートの町づくり)
 - ・賃貸住宅オーナーや不動産事業者と連携した若年層向け住宅の供給
 - ・リノベーションによる空き家活用や公的賃貸住宅の活用の促進
 - ・高齢者の住まいと転入希望の若年ファミリー層の住み替え
- 子育てしやすいまちとしての環境整備とニーズに応じた子育て支援サービスの充実
 - ・夜間の防犯など治安面の安心感の向上
 - ・病児保育・一時保育・夜間保育などきめ細やかな保育ニーズに対応したサービス提供、ママさん同士の交流の場の創出(空き家の活用などにより)
 - ・自然環境を活かした子育て環境の充実（里地・里山遊び、ピクニックなど）
- 人のつながりをつなぎ・はぐくみ・継続させるための仕組みづくり・人づくり・場づくり
 - ・地域イベントの活性化、参加対象の拡大（自治会未加入者の参加促進など）
 - ・多世代交流のできる居場所づくり
 - ・子どもの頃からまちへの愛着を育てる機会づくり（まちの資源・魅力の発掘ワークショップ、祭りの活性化など）
 - ・自治会運営の見直し、
- 区内の大学が持つ人材や専門性と地域の課題を結ぶ仕掛け作り
- 西京区のよいところ・住みやすさをプロモーションする情報発信・イベントづくり
 - ・リノベーション住宅見学ツアー
- まちの資源を活かした産業・雇用の場づくり、ビジネス起こし
 - ・農業ビジネス・観光ビジネスの振興
 - ・高速道路のポテンシャルや芸大跡地を活用した地域製品の販売拠点づくり
 - ・京都大学と連携した産業振興としてITベンチャー企業の育成
- 高齢者・母子家庭などサポートを要する世帯を支え・支え合うためのコミュニティビジネス起こし
 - ・買い物支援による地域経済にも貢献する取り組みの推進
 - ・地域の高齢者の子育て支援活動への参加促進（多世代交流による地域ぐるみの子育て環境作り）
 - ・生活を支える仕組みとセットになった住まい作りの推進
 - ・高齢者によるビジネス起こしの支援
- 高齢社会にも対応できるきめ細やかな交通対策の推進
 - ・利便性を高める運行ダイヤの検討
 - ・桂川駅と桂坂やニュータウンを結ぶ新しい交通機関（モノレールなど）を検討
- 高齢者の居住ニーズ・住み替えニーズに対応した住まいづくりの推進

◇交流に関する活性化方針

- 西京区の豊富な人材・活動をまちを元気にするための取り組み・地域活動に活かすための仕組みづくり
 - ・まちづくり人材の情報共有・プラットフォームの設置
 - ・地域間交流イベントの開催や意見交換の場の設定
 - ・大原野の野菜など農産物を媒介とした交流機会の創出（マルシェ・地産地消・農業体験など）
 - ・高齢者のケアを通じた交流機会の創出
 - ・交流の触媒としての学生の力を活かすために学生の集い場の創出
- かくれているまちづくり人材を発掘し、西京区を元気にするまちづくりグループを増やす
- 観光客の受け入れ増加を目指し、まちの資源を活かした観光プログラムの開発
 - ・地産地消をテーマに地元素材を活かしたレストランや特産物を活かした交流プログラム（たけのこほり体験→放置竹林の問題へのアプローチ）
 - ・地域活動を観光資源として結びつけた観光ルートの開発（自然観察・歴史ツアーなど）
 - ・西京区内ならではの観光プログラムを開発するための、事業者、住民の活動、大学等のネットワーク形成（地域ぐるみでの観光振興組織・意識啓発）
 - ・西京区内の寺社仏閣、自然を活かし、組み合わせた観光客の誘致
 - ・自然環境・田園空間を活かした「ピクニック」をテーマにした観光
 - ・西京の地域資源を回るような市民マラソンコースの認定などが考えられる。
 - ・観光振興における戦略的なゾーニングとルール作り（観光公害が発生しないように）
- 観光・交流を促進するための宿泊・滞在の受け皿と交通（魅力ある交通機関・交通ルート）の充実化
 - ・地元食材とレシピ提案の自炊方式の宿泊サービス（公的住宅の空室活用など）
 - ・ウォーキングやサイクリングによる回遊ルートと拠点の整備（駅・笑みナース・商業施設など）
 - ・地元製品の販売拠点となる新しい交流の場づくり
 - ・向日市など他都市ともつながる交通網の検討
 - ・乗ってみたいと思えるユニークな乗り物による観光ルート
 - ・西京区内をまわるコミュニティバスなど区内移動の利便性が高まる交通機関
 - ・区内外の交流につながる五条通LR Tの検討など、
- 区内・隣接市間でまちのよいところを互いに知り合う「まちの魅力再発見」の機会づくり
- 芸術をテーマとしてまちづくり活動と拠点作りの推進
 - ・スケッチ会など市民の芸術活動の促進するようなイベント実施
 - ・芸術・文化活動による外部からの交流人口の確保に向けてアートレジデンスなど外に発信できる芸術・文化関連コンテンツを誘致。
- 多世代が交流できる居場所づくりの推進
 - ・世代を超えて交流し支えあえる場を空き家や空き室、遊休施設の活用により創出（独居高齢者、子どもの居場所、多世代での料理教室など）